

「現代詩の長女」と呼ばれ

戦後の女流詩人の先頭に立ってきた彼女には、  
隠された素顔があつた――

作 長田 育恵

演出 マキノノゾミ



出演

松金よね子

岡本麗

田岡美也子

木野花

小林隆

小嶋尚樹

古屋隆太

第19回 鶴屋南北戯曲賞受賞作品

グループる・ばる Vol.24 さよなら身終い公演

# 蜜柑とユウウツ

—茨木のり子異聞—

グループる・ばる Vol.24  
さよなら身終い公演

# 蜜柑と ユウウツ

—茨木のり子異聞—

作 長田育恵 (てがみ座)  
演出 マキノノゾミ



詩人・茨木のり子が亡くなつてから4か月後のある日。  
主を失つた家に、甥と編集者らが未発表の遺作を探しにやってくる。  
だが部屋の中にはその様子を見守る先客がいた。  
3人の「のりこ」と、管理人を名乗る「タモツ」。  
異なる時空が幾重にも重なり「茨木のり子」の言葉と人生がよみがえる。  
終戦。結婚。そして別れ…。 遺された1冊の詩集をめぐる物語。

「戦後社会の在り様を見詰めた女性詩人の魂と生きた時代を多面的に  
描き出し、戦後から今につながる時代の空気を感じさせてくれた」と  
高い評価を得た秀作。

グループる・ばる最終公演として、ついに再演！



松金よね子



岡本 麗



田岡美也子



木野 花



小林 隆



小嶋尚樹



古屋隆太  
(青年団)

一度だけのつもりで始まった私たちの芝居は、「愛がなくなつたら別れようね」と誓い合つて32年。思いの外長く続きました。

毎回、私たちが大好きな人たちと芝居を創り、公演が終われば解散。先のことは考えず、いつも「これが最後」という気持ちで芝居を創ってきたような気がします。でも今回は敢えて【さよなら身終い公演】と名づけ、グループる・ばるの最後の公演にすることに決めました。決して愛がなくなったわけでも、大好きな人たちがいなくなったわけでもありません。やりたいことはまだあるけれど、その情熱があるうちに、きつぱりと幕を下ろすことを選びました。

そして、身終い公演に選んだのは『蜜柑とユウウツ～茨木のり子異聞～』です。3年前に初日の幕を開けた時、入りきれないほどのお客様に来ていただき、茨木のり子が作品に残した思いは、多くの人たちに支持されていることを改めて知りました。今、我々を取りまく状況は以前よりずっと悪くなっているような気がします。だからこそ、茨木のり子が伝えたかったその思いを、もう一度しっかり考えてみたいと思いました。

私たちはこれからもそれぞれのフィールドで芝居をしていきますが、グループる・ばるとはこれでお別れです。どうぞ見届けてください。

グループる・ばる (松金よね子 岡本 麗 田岡美也子)



美術：奥村泰彦 照明：稻葉直人 (ASG) 音響：内藤博司 (ショウビズスタジオ) 衣裳：三大寺志保美 舞台監督：内藤正広  
演出助手：大野裕明 (花組芝居) ブロンスター：伊藤桃花 イラストレーション：荒井良二 宣伝写真：沖 美帆 宣伝美術：鈴木 勝 (FORM)  
制作：有本佳子 (ブリエール) 林 弥生 和田幸子 (ブリエール) 企画・製作：グループる・ばる <http://lebal.jp>

## 江別演劇鑑賞会 第151回例会

# 11月10日(土) 開演18:30 江別市民会館大ホール

一緒に演劇を楽しみませんか！

江別演劇鑑賞会は、会員制の演劇を観る会として1988年に創立しました。全て会員が運営している手作りの会です。演劇鑑賞に興味のある方は、お気軽にお電話ください。

お問い合わせ 江別演劇鑑賞会

市内野幌町76-1  
TEL・FAX 011(383)-3222  
e-mail e.enkan@gmail.com

受付 10:00 - 12:00 (土日祝日のみ)

入会金 お一人1,500円	
月会費	一般 2,500円
	学生 900円
	高校生 500円

演劇鑑賞会は会費のみで運営しています。

後援／江別市教育委員会